

第17回名古屋高速道路公社入札監視委員会の結果について

開催日及び場所	平成23年11月29日(火) 名古屋高速道路公社本社会議室	
委員	辻巻 真(委員長 弁護士)・柴田 和範(公認会計士)・小畑 誠(大学院教授) (敬称略)	
審議対象期間	平成23年4月1日～平成23年9月30日 (平成23年度上半期分)	
抽出事業案 〔工事〕	総件数 3件	
・一般競争入札	(総合評価落札方式) 2件	県道高速名古屋新宝線港北公園園路広場等復旧工事
		県道高速名古屋新宝線港明工区ランプ擁壁その他工事
・随意契約	1件	平成23年度東山線緑橋換気所(下り)トンネル換気設備分解整備工事
抽出事業案 〔建設コンサルタント業務等〕	総件数 3件	
・指名競争入札	2件	平成23年度鋼床版及びコンクリート床版の維持管理に関する検討業務委託
		平成23年度リフレッシュ工事・高速4号東海線 木場～東海JCT間開通に伴う広報及び開通式に係る業務委託
・随意契約	1件	平成23年度料金収受業務委託(その1)
委員の質問等に対する回答	質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告	なし	
委員会からの要望	<p>公社では、色々な努力によって競争性は非常に高まってきていることが見受けられます。また、競争性と品質・安全性の確保の両立という問題がありますが、様々な改革も実行され、8月1日からは低入札価格調査制度の改正も実施されております。ただし、この調査制度はあくまでも事前的な調査でありますので、事後的な検証も考えていただいて、更なる品質の保持・安全の確保を志していただきたい。</p>	

委員の質問等に対する回答

1) 工事

抽出事案	質問	回答
① 県道高速名古屋新宝線港北公園園路広場等復旧工事	入札参加者数が多いこと、また、落札率が低い理由は。	入札参加者数については、公園工事の中では施工規模が大きく、予定価格が高い工事であるため、業者の参加意欲が高かったと思われる。 また、落札率についても、受注意欲が高かったことが反映され、低くなったものと思われる。
② 県道高速名古屋新宝線港明工区ランプ擁壁その他工事	予定価格が高いにもかかわらず、入札参加者が1者のみであった理由は。	現場が非常に狭く、作業効率が悪いいため、業者の参加意欲が低かったと思われる。 また、配置できる技術者が偶々いなかったということも考えられる。
③ 平成23年度東山線緑橋換気所(下り)トンネル換気設備分解整備工事	見積回数が多い理由は。	本件工事価格のうち、受注者から見積りを徴求して積算している部分は全体の1割程度であり、その他の部分は公社の基準に基づいて積算している。 結果的に公社の予定価格と受注者の見積価格に差異があったためと思われる。

2) 建設コンサルタント業務等

抽出事案	質問	回答
① 平成23年度鋼床版及びコンクリート床版の維持管理に関する検討業務委託	落札率が低い理由は。	コンサルタント業務の発注量が全体的に減少している中、予定価格を事前に公表していることもあり、指名業者間の競争が激しく、結果的に低価格での落札になったと思われる。
② 平成23年度リフレッシュ工事・高速4号東海線 木場～東海JCT間開通に伴う広報及び開通式に係る業務委託	3件の業務を集約発注した理由は。	対象業務が同時期であったこと、また、開通式に係る広報と式の運営の業務は共通する要素があることから3件の業務を集約した。 また、管理技術者を1人にする事ができるため、委託額が若干抑えられることを期待した。 結果的に過去の業務と比べて落札率も下がっており、予定どおりの成果が得られたと考える。
③ 平成23年度料金收受業務委託(その1)	見積回数が多く、落札率が高い理由は。	東海線供用に伴い一部管轄する料金所の入替え等を行ったため、見積りが難しくなり、回数が多くなったと考えられる。 また、本業務は一般競争入札の落札者につき業績評価により次年度業務を随意契約するものである。 その予定価格は積算金額に入札時の落札率を乗じて算出するので、受注者は積算金額にできるだけ近い見積りを行おうとしたためと思われる。